

令和2年度

寒川町みんなの地域福祉つながりプラン

進行管理表

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	1 (仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業					
事業内容 (目標)	健康、福祉、交流等の総合拠点として(仮称)健康福祉総合センターを建設検討します。					
現状と課題	寒川町公共施設等総合管理計画において、(仮称)健康福祉総合センター建設用地については既存の保健福祉施設や役場庁舎機能等を集約した複合化という形での方向性が示された。今後は財産管理課で策定する寒川町公共施設再編計画により建設検討をしていく。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	施設建設にかかる取り組み					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目 標	—	●	—	—	—	—
実 績	—	●	—	—	—	—
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由						
備 考	目標について、寒川町公共施設再編計画により建設検討がされているため、平成29年度以降は「—」としている。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	2 包括的支援事業					
事業内容 (目標)	高齢者の介護予防及び包括的ケアマネジメント、総合相談・権利擁護を実施できるような支援を行います。					
現状と課題	地域包括支援センターの人員を増やし相談体制を強化する方針で出張相談の回数を段階的に増やしてきた。令和2年10月から南部相談室を設置。人的な体制を強化するため職員募集を行っているが思うように応募がない状態で、予定どおりの人員配置ができていない。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	包括支援センター設置数(相談窓口箇所)					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	箇所	1	3	3	3	3
実績	箇所	3	3	3	3	3
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	南部公民館での常設の相談室が地域の高齢者等のニーズに対応し、成果を上げているため、北部公民館においても同様の機能を持った相談室を設置し、地域住民のニーズに対応していきたいため。					
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	3 社会福祉協議会補助事業					
事業内容 (目標)	地域福祉を推進する事業を実施している社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉が推進するよう必要な助言等を行い、連携を図ります。					
現状と課題	社会福祉協議会への運営補助を行っているが、事業ごとの実態把握に努め、適正化を図っていくことが必要。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	事業カリキュラム数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	事業	82	83	83	84	84
実績	事業	85	86	88	90	93
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	新型コロナウイルス感染症流行に伴い増加する相談窓口の対応及びオンライン等による新たなる手法を模索しながら、地域福祉推進のために様々な事業を展開しているため。					
備考	社会福祉協議会運営費補助金対象の社協事業数。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	4 相談支援事業					
事業内容 (目標)	障がい者の自立した生活を送ることができるよう、制度利用や日常生活上の相談等を受け、必要な情報を提供するための相談窓口を開設します。					
現状と課題	平成18年10月から受けている相談件数は増加傾向にあり、複雑で支援の困難な相談を受けることもある。支援の困難なケースに対してどのように支援をしていくかが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	相談支援件数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	件	3,700	3,848	5,000	5,000	5,000
実績	件	5,712	7,179	4,607	3,828	3,968
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	令和2年10月より、基幹相談支援センターを開設。相談件数は増加しており、家族支援なども含めて、本人や家庭が抱える課題に対応しなければいけない状況が増えてきているため、事業の継続は必須。					
備考	委託先:「生活相談室すまいる」相談員4名、「障がい者相談支援事業所 ゆいっと」相談員4名。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	5 社会福祉協議会PR活動、懇談					
事業内容 (目標)	民生委員・児童委員の会合や自治会等各団体に直接出向き、顔の見える関係づくりを通して社協に対する理解を深めてもらうとともに、意見交換を通じ、ニーズ把握に努めます。					
現状と課題	社協事業の説明を地域に出向いて行う。関係機関、自治会、民生委員、障がい当事者団体等、複数の団体と懇談を実施しながら具体的な福祉課題を把握することに努め、今後の取り組みにつなげていく。大人数の会議の場では、大枠での問題、課題の聞き取りになってしまうが、具体的な聞き取りの場をもち、社協として課題解決にどう係われるのかを分析する必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協PR活動回数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	25	25	27	28	29
実績	回	33	25	23	46	45
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	コロナ禍ではあるが、社協事業の説明のため対策をして出向いた。自治会の毎月の会合に参加した際には、住民に社協の事業説明と周知を行い、活動への協力を呼びかけた。そのほか、ラジオでも時期に合わせた最新情報の紹介を行った。					
備考	●例年、社協の一般会員会費納入の協力依頼及び事業説明に出向いているが、令和2年度はコロナ禍のため限られた自治会のみで実施。●生活支援コーディネーターとして毎月の自治会の会合にて社協事業の説明。●老人クラブを訪問し高齢者向け社協事業の説明。●民生委員児童委員協議会の研修会にて社協事業の説明●湘南さむかわラジオの月1回生放送に出演し、その時期に応じた内容で社協の紹介。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	6 地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大					
事業内容 (目標)	協議体であるという強みを活かし、各種の事業等で地域の個人、団体と連携・協力します。新たなネットワーク体制の構築に取り組みます。					
現状と課題	地域の気軽に集える「居場所作り」のため、人材、必要性、場所、運営等の検討を地域の方とともに連携しながら取り組んでいる。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	地域や個別の課題に対し、地域住民、あらゆる団体等とネットワーク構築をし、課題解決に向けた取り組みを行います。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	コロナ禍のため新たな集いの場、居場所づくりの立ち上げに向けて積極的な支援はできなかった。しかし、運営されているサロンや通いの場においてコロナ禍での運営についての相談などが多数あり、創意工夫の実践内容など情報提供や共有することで支援を行った。					
備考	地域福祉フォーラムはオンラインにて開催。オンラインでの参加に不慣れな方もおり、準備に時間をかけてなるべく多くの方が参加できるよう調整した。結果、オンラインでの参加とオフライン(会場参加)で多くの方と地域福祉活動状況を報告し合うことができた。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	7 広報紙「社協さむかわ」の発行					
事業内容 (目標)	広報紙「社協さむかわ」を隔月発行し、福祉情報を全世帯にお届けします。					
現状と課題	社協の広報紙に興味を持ってもらうために、また、社協の活動を知ってもらうために、写真を多く掲載することが有効と考え、それを意識して作成をしている。年6回・奇数月発行のペースを利用し、社協や地域の情報発信のツールとして活用しているが、「手にとってもらえる、読んでもらえる」紙面づくりは常に課題となっている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	紙面ならではの発信力を高めるよう工夫し、地域福祉情報を分かりやすく伝えます。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	A:目標達成	A:目標達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	年6回発行の広報紙「社協さむかわ」を順調に発行できた。また、令和3年3月発行の号では、コロナ禍の令和2年と地域福祉活動の状況を掲載し、各地域の団体にインタビューも行った。発行部数も増刷し、広く配架している。					
備考	令和3年度、広報紙「社協さむかわ」をリニューアルして、新しいデザインで発行予定。ページ数や発行回数も変更予定。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	8 ホームページの充実					
事業内容 (目標)	より見やすいホームページにすべく改善・リニューアルを施し、迅速な福祉情報伝達に努めます。					
現状と課題	見やすいページ作成を心がけ、調べたい内容がすぐに検索できるようにしている。また、日々の活動をブログにて報告し、活動のPRを行っている。(社会福祉協議会) 行政情報を正確にかつ迅速に公表し、行政の公平性・透明性を図れるよう努めていく。(町)					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	最近の情報を伝達できるよう迅速な更新					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	1:拡充
評価の理由	定期的な更新に新着情報の即時掲載など、内容が停滞しないよう情報を更新していった。特に令和2年度はコロナ特例生活福祉資金が始まり、その情報更新回数が増加。また、その申請書類を多くの方がダウンロードして利用された。					
備考	令和2年度より、社協の新ホームページ作成に向けて準備を開始した。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	9 ボランティアセンター事業					
事業内容 (目標)	ボランティアについての相談窓口、ボランティアコーディネート、ボランティア情報の発信等を行います。寒川町の地域活動を支える拠点となる「(仮称)さむかわ地域活動サポートセンター」への発展を検討します。					
現状と課題	ボランティアの登録者数は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が制限されたため減となった。同じ方がいくつものボランティア活動をしていたり、新規会員が少なかったりという状況は継続的にある。また、受託事業である「寒川町シニア元気ポイント」をきっかけにボランティア活動を始められる方もいるがシニア元気ポイントの活動も新型コロナウイルス感染拡大防止のため減少した。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協ボランティアセンター個人登録ボランティアの年間活動人数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	人	2,489	2,994	3,595	3,289	1,209
評価	A: 目標達成 B: 目標に向け順調 C: 目標に向け遅延 D: 未実施 E: 廃止の方向					
今後の方向性	1: 拡充 2: 継続 3: 縮小 4: 廃止					
評価の理由	コロナ禍のため、実績数値は大幅減。ボランティア活動の受け入れを中止する施設が多数あり、例年、町から依頼のある保育のボランティアも依頼がなくなった。社協事業では個人宅訪問や病院への送迎、サロンの運営等でのボランティア活動はコロナの状況を見ながらの活動実施となった。					
備考	●「寒川町シニアげんきポイント事業」におけるボランティア活動も活動先の施設のほとんどがボランティアの受け入れを中止。●活動が無い状況が長く続き、モチベーションの低下が危ぶまれる。対策として、社協ボランティアセンター発行の登録ボランティア向けの情報誌を工夫したり、ボランティア交流会をコロナ対策をしながら実施。数少ないボランティア同士の情報交換や交流が行える貴重な機会となった。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	10 ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり					
事業内容 (目標)	ボランティア活動PR強化月間を充実させ、ボランティア活動に参加するきっかけとなる講座の開催やボランティア活動の体験等の拡充に取り組みます。					
現状と課題	新規ボランティア登録者数は3名に止まり、ボランティア活動への関心や参加の意欲が高まっているが活動できず、登録者数全体も減少した。町内のボランティアの情報発信拠点として、ボランティア活動体験講座、ホームページやSNSの活用等、情報発信に努めた。また、「シニアげんきポイント」の窓口をボランティアセンターにおいているため活用していきたい。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	新たなボランティア登録者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	12	12	15	15	15
実績	人	18	11	18	21	3
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	活動が以前のように再開できるまでは目標数値の達成は困難であるが、活動が正常に戻るまで目標に向け取り組み準備を行っていきたい。					
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	11 民生委員・児童委員活動事業					
事業内容 (目標)	地域住民に対する的確な援助、相談、指導等の活動を行うため、研修会等の実施に対し補助を行い、資質向上を図ります。					
現状と課題	地域住民と行政のパイプ役である民生員児童委員の活動を援助するため、民生員児童委員協議会の事務及び補助を行う。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	研修回数・延べ活動日数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回・日	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900
実績	回・日	14 10,199	16 10,372	15 10,306	13 9,604	8 7,478
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	民生委員児童委員の任務である地域住民に対し、適確な援助や相談等の活動を行うために必要な研修を実施しているため。					
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛することがあり、実績数値は減となった。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	12 小地域福祉活動事業					
事業内容 (目標)	自治会等身近な地域でのサロン活動の継続的な支援や立ち上げに際しての相談・バックアップを行います。					
現状と課題	町内自治会で活動している小地域サロンに対し助成を行い、その活動を支援するとともに、地域サロン懇談会を行い、運営者同士の情報交換会を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	立ち上げ地区数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	地区	15	16	16	16	16
実績	地区	15	15	15	15	17
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	コロナ禍で、新たな集いの場、居場所づくりの立ち上げに向けて積極的な支援はできなかったが、マンション居住者から、シニア世代がつながるサロン立ち上げの相談を受け、情報提供や支援を行った。次年度より活動開始予定。					
備考	マンションの居住者が発起人となり、マンションに住むシニア世代をつなぐ場をつくりたいとのことで、令和2年7月から立ち上げの相談を受ける。サロン立ち上げにおける情報提供を行い、令和3年3月に新たなサロンが立ち上がる。令和3年6月からマンション付近の相模川沿いでコーラスなど、青空サロンでスタート予定。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	13 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	だれもが気軽に集い、催し物や模擬店等を通じて交流や体験出来る場を創出することを目的に開催します。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りに努めている。年々大きくなる運営は負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	4,000	4,200	4,300	4,300	4,300
実績	人	—	4,000	4,000	—	—
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止とした。誰もが参加できるイベントとして障がい者や高齢者、子どもなど多くの来場者や出店者が集まるなかで安心、安全に参加することが難しく、実施に向けてできる限りの会議とアンケートを行い、意見を集約して最終的な判断を行った。					
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	14 ふれあい・いきいきサロン					
事業内容 (目標)	仲間づくりや協力体制づくりを進めるため、障がい者や子育て中の親子等を対象に開催します。					
現状と課題	子育てサロンは、ボランティアの協力のもと、毎月1回定期的に開催。4月、5月は中止し、6月～9月は季節の工作の材料を配布するなど自宅で親子で遊べる提案をした。引き続きチラシ配布等で周知していく。障がい児者サロンは、ポウリング大会とフラワーアレンジメント体験を開催。ポウリングでは、企業が全面的に協力をしてくれたため、参加者とボランティアの交流の場にもなった。地域共生社会を見据え、今後も社協が主催で開催するサロン、居場所づくりのあり方を検討していく。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	サロン参加者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	750	770	750	750	750
実績	人	652	855	854	825	308
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	サロンの中止、会場利用人数の制限等により目標人数に届かなかった。					
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止をしながらサロン活動を続けていく。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	15 手話奉仕員養成研修事業					
事業内容 (目標)	障がいのある人が積極的に社会へ参加できるよう支援するために、町聴覚障害者協会の協力を得ながら、手話通訳者の養成講座を開催します。					
現状と課題	手話奉仕員養成講座等により、手話通訳者を養成しているが、資格取得までつながらないことが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	講座受講者数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目 標	人	32	32	32	32	32
実 績	人	21	21	42	27	6
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	C:目標 に向け 遅延	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	コロナウィルスの感染拡大に伴い、例年は年間で2コースを実施しているところを、上級コースのみ実施した。今後も、感染拡大防止等に留意しながら、事業を継続していく。					
備 考	委託先:寒川町聴覚障害者協会 上級コース 9月30日～12月23日 全13回開催6名参加。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	16 ボランティア講座					
事業内容 (目標)	その時々の方勢やニーズに応じたテーマを内容とし新たなボランティアの掘り起こしを目指します。					
現状と課題	すでに活動しているボランティアグループは新規会員の獲得に努めているが中々増えない。子どもから大人まで、ボランティア活動をはじめるきっかけや、スキルアップ、ボランティアグループ同士の学び合いを目的として今後も開催する。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	ボランティア講座受講者のべ人数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	120	130	100	100	100
実績	人	67	27	81	97	オンライン開催
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標に向け遅延	C:目標に向け遅延	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	ボランティアグループの活動中の様子や活動内容がわかる動画を作成し、インターネットの動画サイトで公開した。					
備考	情報発信の動画を見て新たに会員が増えたグループがあった。令和2年度活動の行えなかったグループや動画で配信しづらいグループ活動をどのように伝えていくかが課題。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	17 シルバー人材センター支援事業					
事業内容 (目標)	シルバー人材センターの機能充実、支援を推進し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図ります。					
現状と課題	会員の高齢化が徐々に進みつつある状況。また、会員数の減少が課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	登録会員数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目 標	人	389	395	401	407	413
実 績	人	306	293	267	278	260
評 価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	同センターの運営を支援し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図っている。しかし、会員資格となる60歳以上の住民の定年延長や再雇用、年金支給年齢の引き上げ等、雇用情勢や生活スタイルが変化しているため会員数が増加せず、遅延が生じているため。					
備 考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	18 高齢者の生きがいづくり等支援事業					
事業内容 (目標)	シニアクラブ(旧老人クラブ)の親睦や地域での生きがいと健康づくり推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。					
現状と課題	寒川町高齢者ガイドや町広報誌等にて、シニアクラブの周知を図っている。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	シニアクラブ数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	クラブ	15	15	15	15	15
実績	クラブ	15	15	15	15	15
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	シニアクラブ運営を支援し、会員同士の親睦や地域での生きがいと健康づくりを推進できたため。					
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	19 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	様々な団体が出店し、各団体のPRを行うと共に、団体同士、顔をつなぐことで連携を深め、福祉の輪を広げます。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りにつながる。年々運営に対する負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	出店団体数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	団体	36	37	38	39	40
実績	団体	—	40	42	—	—
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止とした。実施に向けてできる限りの会議とアンケートを行い、意見を集約して最終的な判断を行った。					
備考	アンケートや出店団体の意見では、開催を楽しみにしていたが、中止の判断は止むをえないという意見で占められた。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	20 小中学校福祉協力校助成事業					
事業内容 (目標)	若い福祉の芽を育てるべく、町内全小・中学校に福祉教育に係る費用を助成すると共に、プログラム内容の相談や講師の調整、当日の支援等を行います。					
現状と課題	町内小中学校全てに福祉教育の取り組みが定着してきている。子どものみならず教員への福祉の理解が進み、積極的に福祉教育への参加が見られるようになった。また、福祉作文の題材に福祉教育で学んだ内容を記載してくれる子どもも増え、福祉に対する意識が向上していると感じる。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	学んだことを活かせるような、子どもたちの地域社会での活動					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	—	—	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	A:目標 達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	コロナ禍により、小中学校においても休校等や感染対策の中、学校側と実施に向けて綿密な調整を行い、慎重に進めた。安全面での配慮により実施ができない企画もあったが、新たな取り組みを実施することもできた。					
備考	コロナ禍においても、学校と福祉施設の協力により、新たな福祉教育プログラムの取り組み(養護老人ホーム職員によるグループワーク)が実施できた。今後も福祉施設とも連携し、幅広く取り組んでいく予定。					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	21 在宅障がい者福祉サービス充実事業					
事業内容 (目標)	障がい者の地域支援を充実することを目的とし、在宅重度障がい者のための住宅設備改良及び障がい者の日常生活の安全確保のためのSOSネットワーク等の支援を行います。					
現状と課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25	25	●	●	●
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
評価の理由	新規の障害者手帳交付に伴い、それぞれの障がいの種別や状況に合わせて個別に説明を行った。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	22 障害者自立支援給付事業					
事業内容 (目標)	障がい者が日常生活及び社会生活において自立した生活を送ることができるよう、必要な介護及び訓練等の提供を行います。					
現状と課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25	25	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	新規の障害者手帳交付に伴い、それぞれの障がいの種別や状況に合わせて個別に説明を行った。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう						
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう						
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進						
事業	23 子育て支援事業						
事業内容 (目標)	子育て支援策の一環として、子育てサポートセンターを拠点に、子育て相談・虐待相談・育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行います。						
現状と課題	子育て支援センターの利用者数については、新型コロナウイルスの影響により減少したものの、影響前は増加傾向にあるため、支援が必要な家庭に対する相談・見守りを継続していく必要がある。						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）							
指標	子育て支援センターの利用者数						
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
目標	人	12,250	9,200	9,200	9,260	9,260	
実績	人	9,101	9,259	9,342	8,521	2,722	
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	A:目標 達成	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	子育て家庭が自由に利用できるフリースペースと支援が必要な家庭に対する相談・見守りについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の閉所や利用者数を制限しての開所としたことから、利用者数が減少したが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話により状況の把握に努めた。						
備考							

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	24 児童クラブ運営事業					
事業内容 (目標)	保護者が仕事などで昼間、家にいない家庭の子ども達(小学生)の健全な育成を図るため、地域の理解と協力を得て、児童クラブの適正な運営を行います。					
現状と課題	全ての小学校区に児童クラブを設置し、NPO法人に委託をして運営を行っている。今後、入所希望児童数の増加が見込まれることから、待機児童の解消に向けて検討していくことが必要。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	入所を希望する者に対する入所率					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	%	100	100	100	100	100
実績	%	99	99.8	89.1	89.8	96.4
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	令和3年3月31日時点での入所希望者220名のうち、入所者212名、待機児童8名、入所率は96.4%となった。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	25 ふれあい塾運営事業					
事業内容 (目標)	安全に遊べる場所である放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら安心して遊べる場を提供し、より多くの児童が安全に過ごせる環境を整えます。					
現状と課題	ふれあい塾の実施日は週3回となっている。放課後子ども総合プラン推進に向け、実施日の増や見守りボランティアの確保に向けて検討していく。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	延べ開所日数(5校合計)					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	日	-	520	520	520	520
実績	日	505	494	232	399	-
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	D:未実施
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全小学校のふれあい塾を休止したため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	26 高齢者在宅福祉サービス事業					
事業内容 (目標)	在宅生活が困難である高齢者等が安心して生活が送れるよう必要に応じて各種支援を行います。					
現状と課題	在宅生活が困難である高齢者が安心して生活が送れるよう、介護保険の利用も含めた相談対応等を行っている。また、生活支援等サービスについては、寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議において、その体制整備について検討を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	必要に応じた適切なサービス提供を行います。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成	B:目標に向け順調
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	各個人の状況に応じた適切な案内等を行った。また、生活支援等サービスの整備体制について、検討を進めてきた生活支援サービスの創出の1つとして、介護予防訪問型サービスAの令和3年度実施に向け整備に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、町の一般介護予防事業を始め、地域の活動が抑制され体制整備が遅滞した。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	27 成年後見制度講座の開催					
事業内容 (目標)	成年後見制度に関する講座を開催し、制度の普及・啓発を行います。					
現状と課題	町民へ成年後見制度を理解してもらうために、毎年、講座を行っている。弁護士を講師に招いて開催し、ケアマネジャー、障がいのある子どもがいる親、認知症の親を介護しているケアラー等、幅広く参加していただいている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	人	30	30	30	30	30
実績	人	29	22	35	-	12
評価	A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向					
		A:目標達成	B:目標に向け順調	A:目標達成	D:未実施	B:目標に向け順調
今後の方向性	1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止					
		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	令和3年3月26日(金)にオンラインにて開催した。コロナ禍により、初の試みとして会場集合型でなくオンライン配信型としたが、制度に関心のある町民や福祉事業所職員が自宅や事業所から参加した。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	28 法人後見事業					
事業内容 (目標)	成年後見制度の利用が困難な方を中心に、その担い手を法人として引き受け、権利擁護推進の一助とします。					
現状と課題	高齢、後見類型5名受任中。引き続き事業を継続する。町長申立て案件の受任依頼を受け、法人後見事業審査会を経て、身上保護を中心とした支援を継続的に行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	受任件数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	件	2	3	3	3	3
実績	件	1	1	2	3	5
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	A:目標 達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	令和2年度中に新規案件2件を受任した。今後も社協で受けるべき案件については積極的に引き受け、事業を継続していく。					
備考	平成30年6月:高齢者(男性)、後見類型、施設入所 平成30年10月:高齢者(男性)、後見類型、在宅 令和元年12月:高齢者(女性)、後見類型、施設入所 令和2年11月:高齢者(男性)、後見類型、在宅 令和3年3月:高齢者(女性)、後見類型、在宅					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	29 健康普及事業					
事業内容 (目標)	地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくり等に取り組むための機会や場を提供します。					
現状と課題	健康づくりに取り組むための機会を提供しているが、その結果町民が安心して暮らせるようになっているかの評価ができていない。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康づくりや食育をテーマとする講座の年間開催数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	65	67	68	68	68
実績	回	73	65	68	65	2
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定の講座が中止となったため、回数減。述べ71人参加。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	30 健康増進事業					
事業内容 (目標)	健康についての正しい知識を得ることで健康に対する心配や不安を解消するため、健康教育等の事業を対象者へ周知・勧奨します。					
現状と課題	がん検診は、現行の受診券の運用が2年目になり、受診券の活用に慣れたことで、自ら受診に行ったり、自分の希望する受診方法を選択できるようになった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康増進事業の周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	43	45	61	61	61
実績	回	52	45	50	49	19
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	C:目標 に向け 遅延
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が中止となったことで周知する事業自体が減ってしまったことと周知をする場が減ったため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	31 緊急通報システム(高齢者在宅福祉サービス事業)					
事業内容 (目標)	慢性疾患があり、日常生活を過ごすことに不安がある独居高齢者に対し、緊急事態発生時に迅速な救援体制が取れるように緊急通報システムを貸与します。					
現状と課題	登録者数(年度末時点) 平成26年度・・・18名 平成27年度・・・17名 平成28年度・・・14名 平成29年度・・・15名 平成30年度・・・13名 令和元年度・・・10名 令和2年度・・・9名					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	A:目標 達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	在宅生活が困難な高齢者に対し、当サービス提供することで、安心して在宅生活を過ごせるよう支援ができた。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	32 避難行動要支援者支援事業					
事業内容 (目標)	災害時における要支援者の安否確認や情報の伝達、迅速な避難誘導を行うため、特に配慮を要する者について名簿を作成します。					
現状と課題	避難行動要支援者の名簿の作成と更新を行う。対象者を把握することが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	避難行動要支援者の把握、同意確認、情報の共有・個別支援計画の作成支援。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●	●	●
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	6月に名簿及び個別支援プランを避難支援関係者である自治会(自主防災組織)や民生委員児童委員などに提供を行った。					
備考	令和3年5月6日現在 対象者数:2,224人 同意者数:1,130人 同意率:50.81%					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	33 災害ボランティアセンター					
事業内容 (目標)	災害時のボランティア活動の拠点として、町・さむかわ災害ボランティアネットワークと協力し災害ボランティアセンターの設置、運営を行います。また、備えとしての訓練はより実践的な内容で取り組みます。					
現状と課題	町総合防災訓練の会場において、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施。町、さむかわ災害ボランティアネットワーク、町社協等で連携。町が大規模災害に見舞われた際にどのような支援が必要か、どのようにボランティアを受け入れるか、具体的なイメージが定着してきている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目標	回	2	2	2	2	2
実績	回	2	1	1	2	0
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	D:未実 施
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続	2:継続	2:継続
評価の理由	町防災訓練中止のため、設置訓練未実施となった。対応マニュアルの随時見直しを行った。					
備考	さらに青年会議所(JC)との連携を協議中。					